

SB-H50

周辺機器制御ガイド

概要

自動つり銭機

信用照会端末

ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断で転載、複写、複製、改ざんすることは固くお断りします。
- 本書の内容については、予告なしに変更することがあります。最新の情報はお問い合わせください。
- 本書の内容については、万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気づきの点がありましたらご連絡ください。
- 運用した結果の影響については、上項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品がお客様により不適切に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者以外の第三者により修理・変更されたことなどに起因して生じた損害などにつきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- エプソン純正品およびエプソン品質認定品以外のオプションまたは消耗品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。

© Seiko Epson Corporation 2024

安全のために

記号の意味

本書では以下の記号が使われています。それぞれの記号の意味をよく理解してから製品を取り扱ってください。



補足説明や知っておいていただきたいことを記載しています。

使用制限

本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮いただいた上で弊社製品をご使用いただくようお願いいたします。

本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、きわめて高い信頼性・安全性が必要とされる用途への使用を意図しておりませんので、これらの用途には本製品の適合性をお客様において十分ご確認の上、ご判断ください。

本書について

本書の目的

本書は ePOS-Device XML や Epson ePOS SDK を利用して、ハブボックス SB-H50 に接続された自動つり銭機、信用照会端末を制御するために必要な補足情報を説明します。

本書の構成

本書の構成は以下の通りです。

- 第 1 章 [概要](#)
- 第 2 章 [自動つり銭機](#)
- 第 3 章 [信用照会端末](#)

もくじ

■安全のために	3
記号の意味	3
■使用制限	3
■本書について	3
本書の目的	3
本書の構成	3
■もくじ	4

概要	5
----------	---

■自動つり銭機、信用照会端末の制御方法	6
■環境設定	7
デバイス登録	7

自動つり銭機	8
--------------	---

■全般	8
■動作設定	9
設定方法	9
■シーケンス図	10

信用照会端末	11
--------------	----

■全般	11
■timeout 要素について	11
■シーケンス図	12

概要

SB-H50 では、以下の周辺機器を制御できます。

使用可能な周辺機器の詳細は SB-H50 詳細取扱説明書および以下のウェブサイトを参照してください。

🔗 https://support.epson.net/p_doc/aba/

周辺機器の制御方法については、ePOS-Device XML や Epson ePOS SDK のユーザーズマニュアルを参照してください。

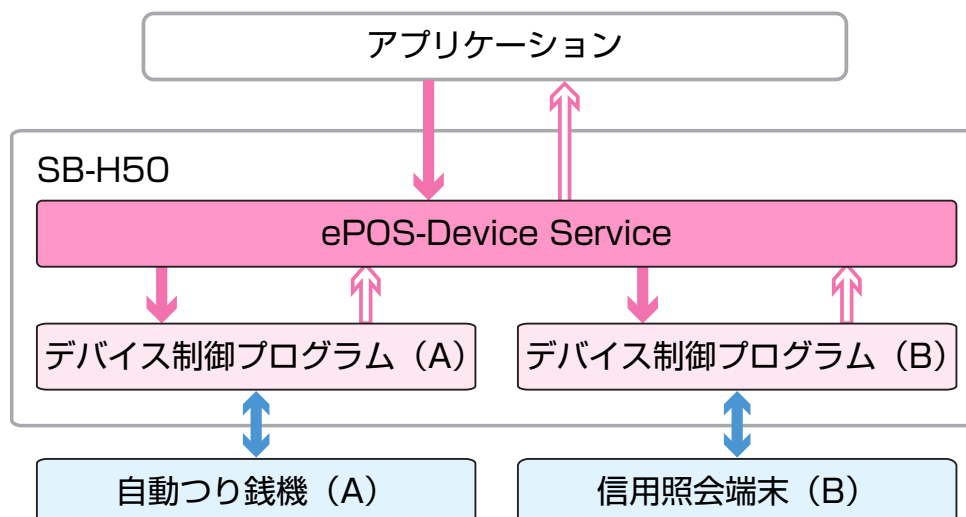
- プリンター
- カスタマーディスプレイ
- バーコードスキャナ（標準 HID/CDC-ACM）
- キーボード（標準 HID）
- 自動つり銭機
- 信用照会端末

自動つり銭機、信用照会端末の制御方法

本書は、自動つり銭機、信用照会端末の制御方法について、ePOS-Device XML や Epson ePOS SDK のユーザーズマニュアルを補足するマニュアルです。

自動つり銭機、信用照会端末を制御するためには、本書のほかに製品別の仕様説明書が必要です。

製品別の仕様説明書の入手方法については、エプソン販売株式会社へお問い合わせください。



デバイス制御プログラムとは

ePOS-Device Service からの命令を周辺機器に送り、実行結果を返す実行ファイルです。

SB-H50 は自動つり銭機と信用照会端末を制御可能なデバイス制御プログラムが内蔵されています。

使用する周辺機器に応じて適切なデバイス制御プログラムを選択します。環境設定方法は、[環境設定](#)を参照してください。

環境設定

SB-H50 から周辺機器を制御するために、必要な初期設定について説明します。

デバイス登録

使用する周辺機器は、SB-H50 に登録する必要があります。これらの登録や設定には、Web Config を使用します。

Web Config は、SB-H50 の設定確認や変更がブラウザ上でできる SB-H50 内蔵の ウェブページです。Web Config の起動方法は SB-H50 詳細取扱説明書を参照してください。

使用する周辺機器を SB-H50 に登録する手順を説明します。

- 1 Web Config を起動します。Web Config の起動方法は、SB-H50 詳細取扱説明書を参照してください。
- 2 [詳細設定] → 左側メニューの [TM-i 設定] → 左側メニューの [デバイス制御プログラム] を選択し、デバイス登録画面を開きます。

TM-i 設定

適用して再起動

- 3 [デバイスリスト] の以下の項目を設定し、[適用して再起動] をクリックします。

設定項目	説明
デバイス ID	Epson ePOS SDK または ePOS-Device XML で使用するデバイス ID を設定します。
ポート	PhysicalPort1 は SB-H50 背面のシリアルコネクタ ⑪ に対応します。 PhysicalPort2 は SB-H50 背面のシリアルコネクタ ⑫ に対応します。
制御プログラム	制御対象の周辺機器に対応したデバイス制御プログラムを選択します。 選択するデバイス制御プログラムは、製品別の仕様説明書を参照してください。
通信速度	周辺機器との通信設定（通信速度）を選択します。
ストップビット	周辺機器との通信設定（ストップビット）を選択します。
データビット	周辺機器との通信設定（データビット）を選択します。
フロー制御	周辺機器との通信設定（フロー制御）を選択します。
パリティ	周辺機器との通信設定（パリティ）を選択します。

自動つり銭機

本章では、全ての自動つり銭機（CashChanger）に共通の内容について説明します。

自動つり銭機ごとの詳細な仕様については、製品別の仕様説明書を参照してください。

全般

- ePOS-Device XML ユーザーズマニュアルでは、デバイス制御プログラムから制御する場合と、デバイス制御スクリプトから制御する場合の、2種類のメッセージを定義しています。SB-H50 で使用できるメッセージは「デバイス制御プログラム」用のメッセージです。
- 自動つり銭機が接続されていない場合、または自動つり銭機の電源がオフの場合、処理結果を通知するメッセージ (onXXXX) の status に DEVICE_ERROR をセットします。

動作設定

SB-H50 の Web Config から、自動つり銭機制御の設定を行います。

設定方法

- 1 Web Config を起動します。Web Config の起動方法は、SB-H50 詳細取扱説明書を参照してください。
- 2 [詳細設定] → 左側メニューの [TM-i 設定] → 左側メニューの [デバイス制御プログラム] を選択し、デバイス登録画面を開きます。

TM-i 設定

- 3 [OposCashChangerHandler の設定] から設定を行います。

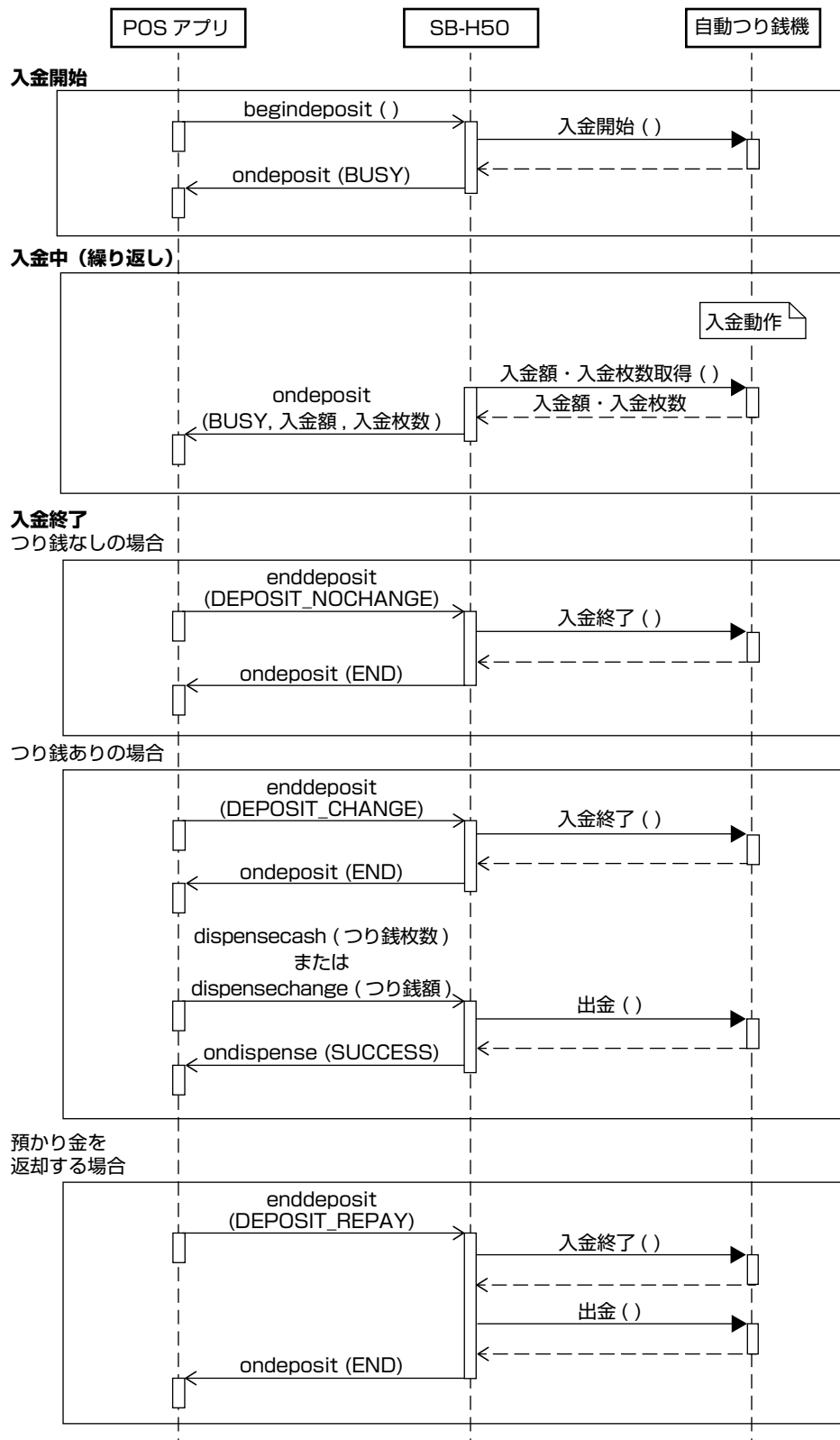
設定項目	説明								
モード不一致補正	<p>自動つり銭機との接続時、自動つり銭機が計数中状態だった時の補正処理の実行有無を選択します。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>選択肢</th><th>説明</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補正しない</td><td>補正処理を行いません</td></tr> <tr> <td>補正する (預かり金の返却なし)</td><td>自動つり銭機の計数中状態を解除して待機状態にします。預かり金は返却しません。</td></tr> <tr> <td>補正する (預かり金の返却あり)</td><td>自動つり銭機の計数中状態を解除して待機状態に、預かり金がある場合は返却します。</td></tr> </tbody> </table>	選択肢	説明	補正しない	補正処理を行いません	補正する (預かり金の返却なし)	自動つり銭機の計数中状態を解除して待機状態にします。預かり金は返却しません。	補正する (預かり金の返却あり)	自動つり銭機の計数中状態を解除して待機状態に、預かり金がある場合は返却します。
選択肢	説明								
補正しない	補正処理を行いません								
補正する (預かり金の返却なし)	自動つり銭機の計数中状態を解除して待機状態にします。預かり金は返却しません。								
補正する (預かり金の返却あり)	自動つり銭機の計数中状態を解除して待機状態に、預かり金がある場合は返却します。								
預かり金の返却方法	<p>enddeposit 実行時に預かり金返却 (DEPOSIT_REPAY) を指定した場合の返却方法を選択します。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>選択肢</th><th>説明</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>枚数を最小にして返却</td><td>最小枚数で預かり金を返却します</td></tr> <tr> <td>そのまま返却</td><td>投入時と同じ枚数で預かり金を返却します</td></tr> </tbody> </table>	選択肢	説明	枚数を最小にして返却	最小枚数で預かり金を返却します	そのまま返却	投入時と同じ枚数で預かり金を返却します		
選択肢	説明								
枚数を最小にして返却	最小枚数で預かり金を返却します								
そのまま返却	投入時と同じ枚数で預かり金を返却します								



選択されたデバイス制御プログラムによっては、「モード不一致補正」、「預り金の返却方法」には対応していません。この場合は設定できません。

シーケンス図

自動つり銭機を使用するときの基本的なメッセージ送受信シーケンスを示します。



- begindeposit で入金を開始し、enddeposit で入金を停止します。
- つり銭がある場合、dispensecash または dispensechange にて出金を行ってください。

信用照会端末

本章では、全ての信用照会端末（CAT）に共通の内容について説明します。

信用照会端末ごとの詳細な仕様については、製品別の仕様説明書を参照してください。

全般

- 信用照会端末が接続されていない場合、または信用照会端末の電源が OFF の場合、処理結果を通知するメッセージ (onXXXX) の status に DEVICE_ERROR をセットします。

timeout 要素について

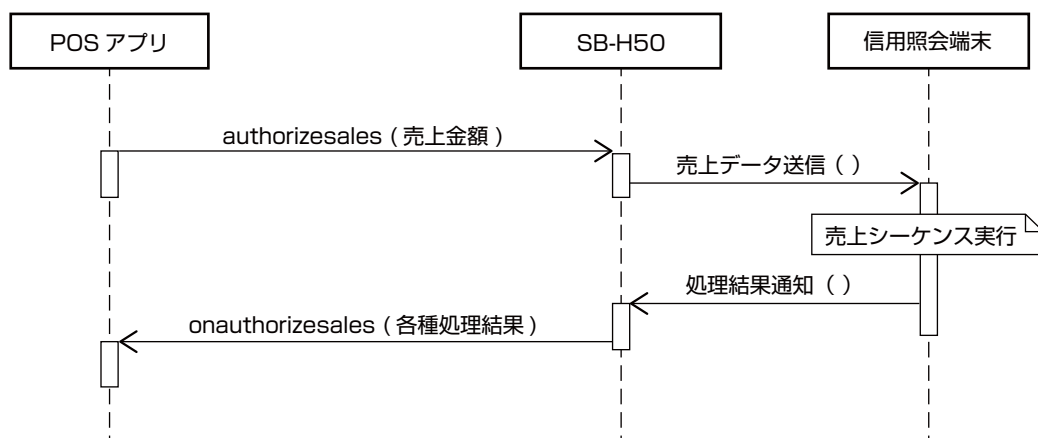
timeout 要素に指定可能な値の範囲は以下の通りです。

パラメータ	説明
-1	タイムアウト無し（無限待ち）
2000 ~ 999000	タイムアウト時間（ミリ秒）

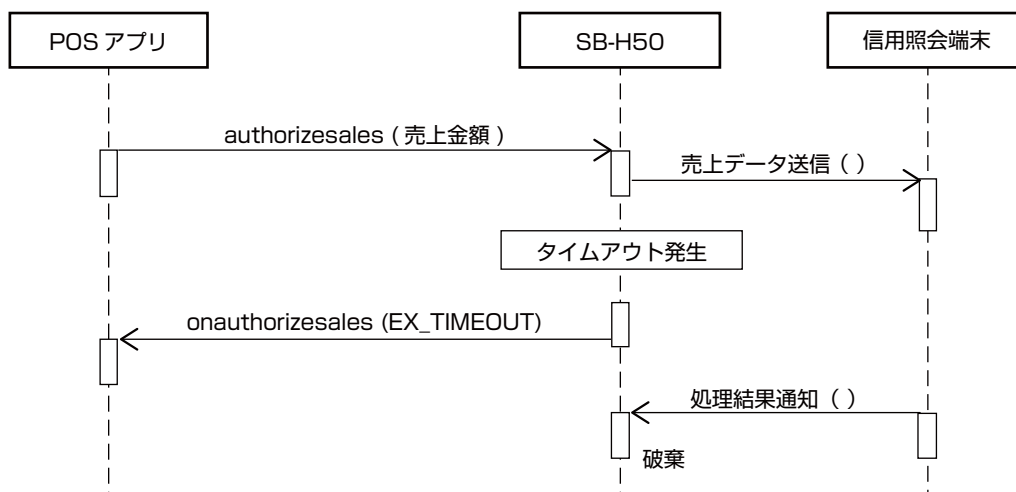
- 通常の取引でタイムアウトが発生しないように十分長い値を設定してください。
- タイムアウトが発生した場合、信用照会端末からの処理結果受信待ち状態を解除し、onauthorizesales などのイベントの status または code にタイムアウトエラーが設定されます。
- タイムアウト発生後、SB-H50 から信用照会端末に対してキャンセルコマンド送信は行いません。信用照会端末側でリセット操作を行ってください。
- 設定したタイムアウト時間が経過するよりも先に信用照会端末側のタイムアウトが発生する可能性があります。その場合、信用照会端末側でキャンセル操作を行ったときと同じ動作になります。
- 本設定によるタイムアウトと信用照会端末側のタイムアウトが同時に発生した場合、時間差によりどちらか早かった処理が実行されます。同時にタイムアウトが発生しないようにタイムアウト値を設定することを推奨します。信用照会端末側のタイムアウト時間は各メーカーの仕様書を参照してください。
- 範囲外の値を指定した場合、onauthorizesales などのイベントの status もしくは code にパラメータ不正エラーが設定されます。

シーケンス図

信用照会端末で売上業務を実行するときの基本的なメッセージ送受信シーケンスを示します。



上記シーケンス実行中、指定したタイムアウト時間を経過した場合は、以下のシーケンスでエラーが通知されます。



タイムアウトについての注意事項は timeout の説明を参照してください。